

赤あざ・青あざ

以下の疾患は健康保険を用いたレーザー治療を受けることができます。

	疾患名	治療回数	治療間隔
青あざ	太田母斑	無制限	3ヶ月おき
	異所性蒙古斑		
茶あざ	外傷性色素沈着症		
赤あざ	単純性血管腫		
	いちご状血管腫 =乳児血管腫		
	毛細血管拡張症		

※当院では扁平母斑に対するレーザー治療は行っておりません。

● 治療費

多くの市町村では、子ども医療費助成制度があります。

自己負担額は市町村ごとに異なります。

最新の情報は市町村のホームページで確認してください。

四街道市：中学3年生まで0円／回

印西市・成田市・佐倉市：中学3年生まで0～200円／回

船橋市・富里市：中学3年生まで0～300円／回

※いずれも第三者行為（交通事故等）によるものは助成対象外となります。

太田母斑

日本人の0.1%に認めます。

男：女=1：4 女性に多いです。

早発性と遅発性があります。

早発性：約半数、出生時～1歳で出現します。

遅発性：思春期～30歳ころまでに出現します。



● 特徴

早発性：顔の片側（おでこ～頬）

遅発性：顔の両側、左右対称（おでこ～小鼻）

青色

平らで凹凸がない

● 治療の流れ

麻酔薬を塗り、30分～1時間ほど薬が浸透するまで待ちます。



レーザーを当てます。



ご帰宅

● ご自宅での処置

レーザー治療の当日はシャワー浴、翌日からは湯船に入れます。

施術後1週間、塗り薬を塗り、ガーゼを当てます。

● 経過

レーザー治療の1週間後に受診します。

その後は3ヶ月おきにレーザー治療を行います。

5～10回程度のレーザー治療が必要になります。

● レーザー治療の副作用

やけど、瘢痕（傷跡）、白斑（白抜け）、色素沈着（しみ）、再発など

● レーザー治療以外の選択肢

植皮術：首や腕などから皮膚を移植する方法です。

異所性蒙古斑

お尻以外の場所にできた蒙古斑です。



● 特徴

生まれつき

青色

平らで凹凸がない

境界がぼんやりしている

生後2歳頃までは色調が濃くなり、10歳頃にほぼ消失する

約3%は成人でも残存する

背部・四肢に出やすい

● 治療の流れ

麻酔薬を塗り、30分～1時間ほど薬が浸透するまで待ちます。



レーザーを当てます。



ご帰宅

● ご自宅での処置

レーザー治療の当日はシャワー浴、翌日からは湯船に入れます。

施術後1週間、塗り薬を塗り、ガーゼを当てます。

● 経過

レーザー治療の1週間後に受診します。

その後は3ヶ月おきにレーザー治療を行います。

5～10回程度のレーザー治療が必要になります。

● レーザー治療の副作用

やけど、瘢痕（傷跡）、白斑（白抜け）、レーザー後色素沈着（しみ）、再発等

● レーザー治療以外の選択肢

経過観察：年齢とともに薄くなっていきます。

植皮術：首や腕などから皮膚を移植する方法です。

外傷性色素沈着症

怪我や火傷などを受傷した後に色が残った状態や、
砂利などが残存している状態です。



● 特徴

青色～茶色

平らで凹凸がない

● 治療の流れ

麻酔を塗り、30分～1時間ほど薬が浸透するまで待ちます。

↓

レーザーを当てます。

↓

ご帰宅

● ご自宅での処置

レーザー治療の当日はシャワー浴、翌日からは湯船に入れます。

施術後1週間、塗り薬を塗り、ガーゼを当てます。

● 経過

レーザー治療の1週間後に受診します。

その後は3ヶ月おきにレーザー治療を行います。

数回のレーザー治療が必要になります。

● レーザー治療の副作用

やけど、瘢痕（傷跡）、白斑（白抜け）、レーザー後色素沈着（しみ）、再発等

● レーザー治療以外の選択肢

切除術：切り取って縫い合わせます。

単純性血管腫

毛細血管が拡張した状態です。

自然消退はせず、加齢に伴い色調が増強したり

腫瘍が出現することがあります。



● 特徴

生まれつき

赤色で平ら、時に腫瘤を形成する

境界は比較的くっきりしている

地図の様に見える

時に足全体など、広範囲に及ぶ



● 治療の流れ

麻酔薬を塗り、30分～1時間ほど薬が浸透するまで待ちます。

↓

レーザーを当てます。

↓

ご帰宅

● ご自宅での処置

レーザー治療の当日はシャワー浴、翌日からは湯船に入れます。

施術後1週間、塗り薬を塗り、ガーゼを当てます。

● 経過

レーザー治療の1週間後に受診します。

その後は3ヶ月おきにレーザー治療を行います。

10回以上のレーザー治療が必要になります。

● レーザー治療の副作用

やけど、瘢痕（傷跡）、白斑（白抜け）、レーザー後色素沈着（しみ）、紫斑、再発など

● レーザー治療以外の選択肢

切除術：疾患が一部に限局している場合は切除が可能です。

赤い疾患部分を取り除き、傷跡にします。

いちご状血管腫＝乳児血管腫

血管内皮細胞が増殖して発生します。



● 特徴

生後1～2週間で出現

平ら～盛り上がっている

生後5ヶ月ころまでに急速に大きくなる

10歳頃までに自然に消退するが、後遺症を残すことがある

● 治療の流れ

麻酔薬を塗り、30分～1時間ほど薬が浸透するまで待ちます。

↓

レーザーを当てます。

↓

ご帰宅

● ご自宅での処置

レーザー治療の当日はシャワー浴、翌日からは湯船に入れます。

施術後1週間、塗り薬を塗り、ガーゼを当てます。

● 経過

レーザー治療の1週間後に受診します。

その後は3ヶ月おきにレーザー治療を行います。

根治は難しく、増悪をコントロールすることが目的になります。

そのため、10回以上のレーザー治療が必要になります。

● レーザー治療の副作用

やけど、瘢痕（傷跡）、白斑（白抜け）、レーザー後色素沈着（しみ）、再発等

● レーザー治療以外の選択肢

内服：[ヘマンジオールシロップ](#)という飲み薬があります。

切除術：切り取って縫い合わせ、1本の傷跡にします。

盛り上がっているタイプの場合は、赤みが消失した後に肌と同じ色の凹凸（瘢痕）が残ることがあります。その凹凸は手術で切除することが可能です。

毛細血管拡張症

毛細血管が拡張し、血流が増加した状態です。

血流が増加すると色調が濃くなります。



● 特徴

ぼんやりと赤い状態～赤く木の枝の様にくっきり血管が見える状態

平ら

年齢を重ねると増える



● 治療の流れ

麻酔薬を塗り、30分～1時間ほど薬が浸透するまで待ちます。

↓

レーザーを当てます。

↓

ご帰宅

● ご自宅での処置

レーザー治療の当日はシャワー浴、翌日からは湯船に入れます。

施術後1週間、塗り薬を塗り、ガーゼを当てます。

● 経過

レーザー治療の1週間後に受診します。

その後は3ヶ月おきにレーザー治療を行います。

5～10回程度のレーザー治療が必要になります。

● レーザー治療の副作用

やけど、瘢痕（傷跡）、白斑（白抜け）、レーザー後色素沈着（しみ）、再発など

● レーザー治療以外の選択肢

経過観察をします。